

シンポジウム



地球温暖化と森づくり

わがまちにいのちを守る森をつくろう！

今年もまた暑い夏がやってきます。近年の地球規模で進む急速な気候変動は人間活動がおもな原因であることがわかっています。産業革命、資本主義はわずか300年で地球環境と生物、人間を生存の危機に追い込んでいます。地球を、世界を、日本を、東京を温暖化の危機からまもるために、いま私たちは森づくりをよびかけます。いま私たちに何が求められているか、一緒に考えましょう。

日時 2019年 **3月30日(土)** 午後2時～4時40分

会場 日比谷コンベンションホール(日比谷図書文化館地下1階)
東京都千代田区日比谷公園1番4号

主催 東京・森まち再生実行委員会

共催 公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)国際生態学センター

協賛 NPO法人 森びとプロジェクト委員会

後援 日本高齢期運動連絡会、東都生活協同組合、東京高齢協、NPO 法人 JUON (樹恩)、
NPO 法人エコメッセ

協力団体 公益財団法人 東京都公園協会

申込先 IGES 国際生態学センター メール:ecoinfom@jise.jp FAX. 045-472-8810

お名前、住所、電話番号、メールアドレス/FAX 番号をご明記下さい。

連絡先 東京・森まち再生実行委員会 080-2394-8748(吉岡)

参加費 無料



日比谷コンベンションホール
(日比谷図書文化館地下1階)
東京メトロ丸の内線、日比谷
「霞ヶ関駅」B2出口より3分

【内容】

シンポジウム「地球温暖化と森づくり～わがまちにいのちを守る森をつくろう！」

- 開会あいさつ 東京・森まち再生実行委員会 実行委員長 鈴木伸一 (東京農業大学教授)
- 開催の趣旨 東京・森まち再生実行委員会 事務局長 吉岡尚志
- 基調講演 「地球温暖化と森づくりの役割」
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 国際生態学センター センター長 鈴木邦雄 (前横浜国立大学学長)
- 研究報告 「海外の取り組み～東南アジア諸国における森林保全政策の現在」
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 主任研究員 鮫島弘光
- 問題提起 「地球温暖化防止と森づくりの市民運動の役割、課題」 実行委員会事務局長 吉岡尚志
- 意見交換
コーディネーター 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 国際生態学センター 主任研究員 矢ヶ崎朋樹



(写真提供：前沢淑子氏)

東京・森まち再生実行委員会 よびかけ人

鈴木 邦雄 (IGES 国際生態学センター所長・前横浜国大学長)

日野 秀逸 (東北大学名誉教授、元経済学部長、医師)

吉原 毅 (城南信用金庫相談役、原発ゼロ自然エネルギー推進連盟会長)

宮本 憲一 (大阪市立大学名誉教授・元滋賀大学学長)

宮本先生からのメッセージ

大都市にこそ森林が必要です。地価の上昇など困難が多いのですが、できるだけ樹木を残し、空き地には森をつくる運動をしましょう。日本の公共事業は建設だけでなく、自然の保全に予算と行政職員をつける必要があります。

申 込 書

申込先 公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター(IGES-JISE)

メールの場合は ecoinfom@jise.jp へ

ファックスは 045-472-8810 へ

問合せ 東京・森まち再生実行委員会 吉岡 080-2394-8748

メールアドレス yoshioka3563@gmail.com

氏名 (ふりがな)

住所

電話

(携帯)

Eメール

※IGES 国際生態学センターは、「JISE 市民環境フォーラム」として共催いたします。